

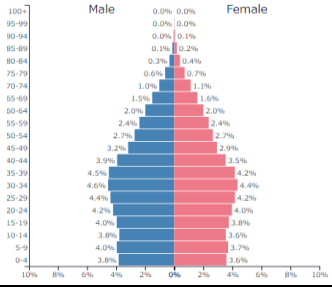


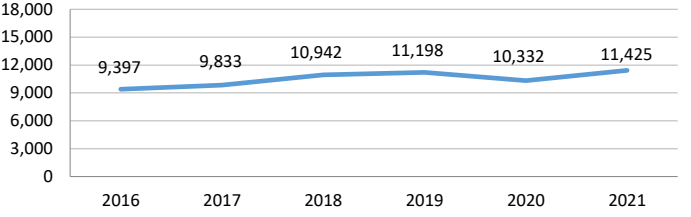
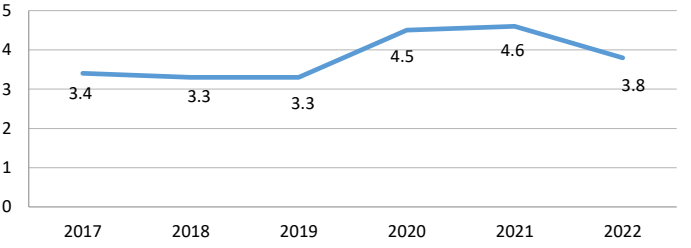
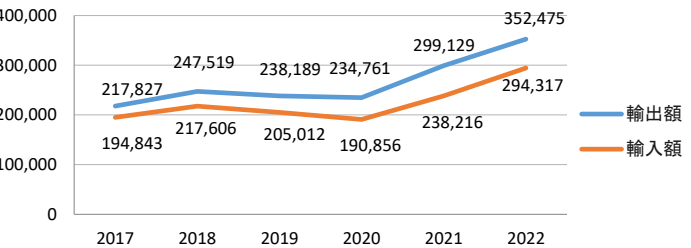


# マレーシアの概要

作成 クレアシンガポール事務所 更新日2023年9月

1. 国概要		出典	
正式名	マレーシア		
国旗	位置図		
		①	
面積	約33万平方キロメートル(日本の約0.9倍)	①	
首都	クアラルンプール	①	
人口	3,350万人(2023年マレーシア統計局) 	⑤ ⑨	
民族	マレー系(約70%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)	①	
公用語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語	①	
宗教	イスラム教(連邦の宗教)(64%)、仏教(19%)、キリスト教(9.0%)、 ヒンドゥー教(6.0%)、その他(2.0%)	①	
通貨(為替レート)	1リンギット=約31.4円 (2023年8月15日終値(マレーシア中央銀行))	①	
略史	15世紀初め	マラッカ王国成立	①
	16世紀~17世紀	ポルトガル、オランダ東インド会社によるマラッカ支配	
	1824年	英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範囲下となる。イギリスによる植民地支配。	
	1942年~1945年	日本軍による占領	
	1948年	英領マラヤ連邦形成	
	1957年	マラヤ連邦独立	
	1963年	マレーシア成立(シンガポール、サバ、サラワクを加える)	
	1965年	シンガポールが分離、独立。	

政治																
政体	立憲君主制(議会制民主主義)	①														
元首	アブドゥラ第16代国王 (2019年1月就任, 任期5年, 統治者会議で互選。パハン州スルタン)	①														
議会	二院制 上院: 70議席、任期3年。44名は国王任命、26名は州議会指名 下院: 222議席、任期5年。直接選挙(小選挙区制)	①														
政府	首相: アンワル・イブラヒム(2022年11月就任) 外相: ザンプリー・アブドゥル・カディル(2022年12月就任)	①														
地方自治制度	<p>【州政府(13州)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各州は、自治体ではなく、連邦を構成する準国家</li> <li>元首を有し、独自の州憲法を制定している。</li> </ul> <p>【連邦地域(3か所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首都など特別な地域を対象に連邦地域(Federal Territory)を設置</li> </ul> <p>【地域レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の長及び委員は、州政府による任命制</li> <li>州による指導監督</li> <li>人口、歳入規模等の条件により、特別市、市、町に区分される。</li> <li>ごみ収集や道路・水路清掃、公衆衛生、公園の整備など基礎的なインフラ整備などの住民サービスを提供</li> </ul>															
経済																
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)	①														
実質経済成長率(%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>実質経済成長率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>-5.6</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>8.7</td> </tr> </tbody> </table>	年	実質経済成長率(%)	2017	5.9	2018	4.7	2019	4.3	2020	-5.6	2021	3.1	2022	8.7	② ⑨
年	実質経済成長率(%)															
2017	5.9															
2018	4.7															
2019	4.3															
2020	-5.6															
2021	3.1															
2022	8.7															
物価上昇率(%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>-1.2</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>3.3</td> </tr> </tbody> </table>	年	物価上昇率(%)	2017	3.7	2018	1.0	2019	0.7	2020	-1.2	2021	2.5	2022	3.3	② ⑨
年	物価上昇率(%)															
2017	3.7															
2018	1.0															
2019	0.7															
2020	-1.2															
2021	2.5															
2022	3.3															

一人当たりGDP(名目、USD)	<p style="text-align: center;"><b>一人当たりGDP (名目、USD)</b></p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Per Capita GDP (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016</td><td>9,397</td></tr> <tr><td>2017</td><td>9,833</td></tr> <tr><td>2018</td><td>10,942</td></tr> <tr><td>2019</td><td>11,198</td></tr> <tr><td>2020</td><td>10,332</td></tr> <tr><td>2021</td><td>11,425</td></tr> </tbody> </table>	Year	Per Capita GDP (USD)	2016	9,397	2017	9,833	2018	10,942	2019	11,198	2020	10,332	2021	11,425	② ⑨							
Year	Per Capita GDP (USD)																						
2016	9,397																						
2017	9,833																						
2018	10,942																						
2019	11,198																						
2020	10,332																						
2021	11,425																						
失業率(%)	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Unemployment Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>2019</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>2020</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>2021</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>2022</td><td>3.8</td></tr> </tbody> </table>	Year	Unemployment Rate (%)	2017	3.4	2018	3.3	2019	3.3	2020	4.5	2021	4.6	2022	3.8	② ⑨							
Year	Unemployment Rate (%)																						
2017	3.4																						
2018	3.3																						
2019	3.3																						
2020	4.5																						
2021	4.6																						
2022	3.8																						
総貿易額 (100万USD)	<p style="text-align: center;"><b>総貿易額</b></p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>輸出額 (100万USD)</th> <th>輸入額 (100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>217,827</td><td>194,843</td></tr> <tr><td>2018</td><td>247,519</td><td>217,606</td></tr> <tr><td>2019</td><td>238,189</td><td>205,012</td></tr> <tr><td>2020</td><td>234,761</td><td>190,856</td></tr> <tr><td>2021</td><td>299,129</td><td>238,216</td></tr> <tr><td>2022</td><td>352,475</td><td>294,317</td></tr> </tbody> </table>	Year	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)	2017	217,827	194,843	2018	247,519	217,606	2019	238,189	205,012	2020	234,761	190,856	2021	299,129	238,216	2022	352,475	294,317	② ⑨
Year	輸出額 (100万USD)	輸入額 (100万USD)																					
2017	217,827	194,843																					
2018	247,519	217,606																					
2019	238,189	205,012																					
2020	234,761	190,856																					
2021	299,129	238,216																					
2022	352,475	294,317																					
貿易品目	<p>(1)輸出: 電気製品、パーム油、化学製品、原油・石油製品、LNG、機械・器具製品、金属製品、科学光学設備、ゴム製品等  (2)輸入: 電気製品、製造機器、化学製品、輸送機器、金属製品、原油・石油製品、鉄鋼製品、科学光学設備、食料品等</p>	①																					
主要貿易相手国	<p>(1)輸出: 中国・シンガポール・米国(2021年)  (2)輸入: 中国・シンガポール・台湾(2021年)</p>	①																					

2.日本とのかかわり		出典																		
大使館	クアラルンプール	④																		
大使	高橋克彦(2021年12月～)	④																		
進出企業数	1,602社(製造業764社、非製造業823社、その他15)(2022年6月時点)	②																		
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	件数:35件 金額:91億8,470万リンギット(2022年1～12月統計)	⑪																		
在留邦人数	約24,545人(2022年10月1日現在)	①																		
在日留学生数	2,423人(2022年5月1日現在)	⑬																		
観光																				
訪日旅行者数(人)	<p style="text-align: center;">訪日旅行者数</p> <table border="1"> <caption>訪日旅行者数</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日旅行者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017</td> <td>439,548</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>468,360</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>501,592</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>76,573</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>1,831</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>74,095</td> </tr> </tbody> </table>	年	訪日旅行者数(人)	2017	439,548	2018	468,360	2019	501,592	2020	76,573	2021	1,831	2022	74,095	③				
年	訪日旅行者数(人)																			
2017	439,548																			
2018	468,360																			
2019	501,592																			
2020	76,573																			
2021	1,831																			
2022	74,095																			
旅行形態	マレーシア人：団体(14.6%) 個人(85.5%)(2019年) 外客全体：団体(16.9%) 個人(83.1%)(2019年)	③																		
貿易																				
日本との貿易(100万USD)	<p style="text-align: center;">日本との貿易</p> <table border="1"> <caption>日本との貿易</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出(100万USD)</th> <th>日本の輸入(100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>13,944</td> <td>18,943</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>13,289</td> <td>17,658</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>12,595</td> <td>15,918</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>15,602</td> <td>19,691</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>15,467</td> <td>25,998</td> </tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出(100万USD)	日本の輸入(100万USD)	2018	13,944	18,943	2019	13,289	17,658	2020	12,595	15,918	2021	15,602	19,691	2022	15,467	25,998	② ⑫
年	日本の輸出(100万USD)	日本の輸入(100万USD)																		
2018	13,944	18,943																		
2019	13,289	17,658																		
2020	12,595	15,918																		
2021	15,602	19,691																		
2022	15,467	25,998																		
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 電気機器(25.4%)、輸送機器(14.0%)、一般機械(13.4%)、鉄鋼(5.2%)、鉱物性燃料(5.1%)</p> <p>(2)輸入 鉱物性燃料等(41.5%)、電気機器(20.9%)、精密機器(3.5%)、木材および同製品(3.3%)、動植物油脂(3.2%)</p> <p>※2022年現在</p>	②																		

3.自治体の活動				出典
自治体交流				
姉妹自治体	県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名
	福岡県	福岡市	イポー	ペラ州
	鹿児島県	日置市	スパンジャヤ市	スランゴール州
	埼玉県	三芳町	ベタリンジャヤ市	セラランゴール州
	岡山県	笠岡市	コタバル市	ケランタン州
トップセールス実績 (渡航通知ベース)	(2022年度)			
	7月 東京都(事前視察)			
	8月 鹿児島県日置市(姉妹都市交流)			
	8月 東京都(イベント出席)			
	9月 神奈川県横浜市(シティネット総会、シティネット分科会等、AMATA表敬、バンコク都環境局表敬)			
(2021年度)				
実績なし				
(2020年度)				
実績なし				
(2019年度)				
7月 福井県あわら市、勝山市、坂井市、永平寺市、石川県加賀市(5市町で構成する「越前加賀インバウンド推進機構」が5市町の首長によるトップセールス)				
7月 岐阜県名務原市(国王(前アジアホッケー連盟会長)との謁見 等)				
8月 東京都葛飾区(ペナン島市長表敬 等)				
10月 大阪府泉佐野市(ペナン市長表敬 他)				
11月 北海道苫小牧市(苫小牧港のポートセールス)				
11月 北海道函館市(メディア等訪問、観光客誘致)				
11月 長野県池田町(農作物・日本酒などの販路拡大)				
12月 福岡県福岡市(姉妹都市締結周年行事出席)				
12月 茨城県坂東市(クアラルンプール市視察)				
JET参加者の数(2023年7月現在)	3名	ALT 0名 CIR 3名 SEA 0名	累計 0名 累計 11名 累計 1名	※計 12名
JETAA支部	-			⑥
クレア関連事業	<p>●地域間交流促進プログラム</p> <p>2019年 シンガポール、マレーシア</p> <p>2016年 シンガポール、マレーシア</p> <p>2014年 マレーシア(クアラルンプール、ジョホールバル)</p> <p>●大学セミナー</p> <p>2022年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>2018年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>2017年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>2015年 マレーシア理科大学(ペナン)、クアラルンプール市役所</p> <p>2014年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>●日本ふるさと名産食品展</p> <p>2019年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>2018年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>2017年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>●専門家派遣事業</p> <p>2022年 マレーシア(クアラルンプール市)宮城県、東京都三鷹市、福岡県福岡市、京都府京都市</p> <p>2019年 マレーシア(セラヤン市)大阪府</p> <p>2017年 マレーシア(クアラルンプール)京都府</p> <p>2016年 マレーシア(クアラルンプール)千葉県千葉市</p> <p>2014年 マレーシア(クアラルンプール)大分県別府市</p>			

4.その他渡航情報		出典
入出国	3か月以内の滞在であればビザは不要	
旅券の残存期間	入国時6か月以上	
日本との時差	-1時間	
祝日(2023年)	1月1日(金) 新年 1月22日(日)～24日(火) チャイニーズ・ニュー・イヤー(旧正月) 4月21日(金)～24日(月) ハリ・ラヤ・プアサ(断食明け大祭) 5月1日(金) メーデー 5月4日(木) ウェサック・デー(釈迦誕生祭) 6月5日(月) 国王誕生日 6月29日(木) ハリ・ラヤ・ハジ(犠牲祭)※ 7月19日(水) イスラム暦新年 8月31日(木) 独立記念日 9月16日(土) マレーシア・デー 9月28日(木) ムハンマド誕生祭 11月12日(日)～13日(月) ディーパバリ※ 12月25日(月) クリスマス ※印の祝日は日付が前後することがあります	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(日本脳炎*1) *1: マレーシアで、クアラルンプールなどの主要都市以外へ長期滞在する場合は推奨。	⑧
気候	熱帯気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+60(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	電圧は220V、50ヘルツ、コンセントは三つ穴のBFタイプが多く、日本の携帯電話やカメラ等の充電器は240Vまで利用可能なものが多く、その場合は変換プラグのみ準備すれば大丈夫ですが、ドライヤーやヘアアイロン等220Vの電圧に対応していない電化製品は、変圧器が必要です。	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい	
日本からのフライト時間	直行便で約7時間10分(東京～クアラルンプール)	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofai/area/malaysia/index.html>
- ②JETROHP [https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html)
- ③JNTO [https://www.into.go.jp/ipn/inbound\\_market/index.html?tab=block1](https://www.into.go.jp/ipn/inbound_market/index.html?tab=block1)
- ④在マレーシア日本国大使館HP [http://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](http://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)
- ⑤人口ピラミッド <https://www.populationpyramid.net/ja/%E3%83%9E%E3%83%AC%E3%83%BC>
- ⑥JETHPより <http://jetprogramme.org/ja/>
- ⑦農水省資料 [http://www.kantei.go.jp/ip/singi/nousui/kyouka\\_wg/dai10/siryou4\\_b1-6.pdf](http://www.kantei.go.jp/ip/singi/nousui/kyouka_wg/dai10/siryou4_b1-6.pdf)
- ⑧厚生労働省検疫所HP [http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia\\_singapore.html](http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia_singapore.html)
- ⑨マレーシア統計局HP <https://www.dosm.gov.my/v1/index.php>
- ⑩マレーシア中央銀行HP [https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic&pg=stats\\_exchangerates](https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic&pg=stats_exchangerates)
- ⑪マレーシア投資開発庁HP <https://www.mida.gov.my/home/about-mida/posts/?lq=JPN>
- ⑫マレーシア貿易開発公社HP <https://www.matrade.gov.my/en/>
- ⑬日本学生支援機構HP <https://www.iasso.go.jp/>